

## Corkcomfort signature 施工要領書

エーディーワールド販売株式会社

## 1. 施工前保管方法

- ・ 保管は多湿の場所を避けて、また、高温と低温ではない場所（10～30℃程度）に保管してください。
- ・ 材料は雨水に濡れないように保管してください。
- ・ 変形・歪みを防ぐために輸送中や保管時は平置きにしてください。
- ・ 施工にかかる48時間以上前には施工場所に梱包されたまま置き、製品を現場の温度になじませてください。梱包の内部のプラスチックフィルムは施工直前にその日に必要な分だけ取り外してください。
- ・ 施工条件（施工前、施工中）は室内温度5℃以上です。開梱、保管（適応）はその条件下で行ってください。
- ・ 傷が付かないように注意して保管してください。荷受け時に外損がないか確認し、あった場合、速やかに配送業者に連絡し、確認を取ってください。お荷受け後の破損にはご対応できません。

## 2. コンクリート下地

- ・ コンクリート下地の場合セルフレベルで下地調整をして、不陸が出ないようにして下さい。
- ・ モルタル・セルフレベルの含水率が10%以下になるまで養生期間を措いて下さい。
- ・ 改修の場合など下地が荒れていることがあるので穴等は埋め、凸部は削り、しっかり平滑になるように補修をして下さい。表面の仕上がりに影響します。
- ・ モルタル下やセルフレベル下からの湿気によっても接着力の低下や材料の突き上げなどの影響がでますので注意してください。

## 3. 合板下地

- ・ 合板はタイプ1（耐水性合板）F☆☆☆☆相当を使用し含水率（13%以下）を確認して下さい。
- ・ 合板捨て貼りは段差（不陸）が無いようにして下さい。
- ・ 合板は隔離をしないようにしっかり固定してください。
- ・ 表面が荒れている所は埋めて平らになるように補修をして下さい。
- ・ コンクリート下地の上に合板を捨て張りする場合でも、湿気の影響を受けますので、コンクリート下地の含水率を確認してください。十分に乾燥していない場合は合板下地とコンクリート下地の間に防湿シートを使用してください。

## 4. 鉄板下地

- ・ サビなどは除去し、表面脱脂をしてください。

## 5. 既存床下地

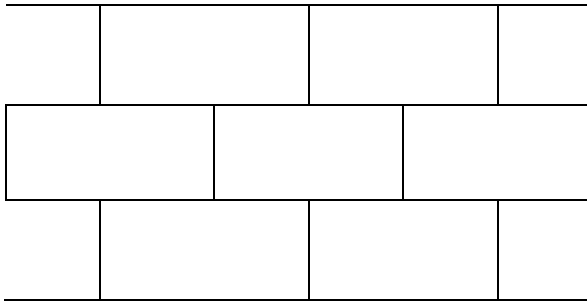
- ・ 塩ビやプラスチック樹脂性の床の上にはそのまま貼らないでください。接着しない場合があります。
- ・ 木製床（ウレタン塗装品・無塗装品）の場合、平滑であれば施工が可能です。平滑でない場合は、表面に凹凸が出たり、接着不良が起きる場合がありますので、研磨などをして平滑にしてください。目地が大きく空いている場合は表面に表れてしまいますので埋めるなどの調整をしてください。

## 6. 施工前の確認事項

- ・ 合板下地のきしみと床鳴り、不陸や隙間、湿気や含水率。
- ・ コンクリート下地の不陸と含水率
- ・ 貼り替えの場合は古い接着剤の除去、下地表面の補修・調整
- ・ 基準墨
- ・ 乾燥と湿度対策（防湿シート等）の確認

- 材料の確認：発注品との仕様照合・数量・状態（傷・割れ・反り）
- 現場状況の確認：材料の置き場と加工場 → 他の内装作業等との周囲確認・調整  
 内装との納まり部の確認  
 換気・電気 → 作業環境を整える。接着剤の揮発・結露・漏電・火気の注意  
 室温・湿度 → 作業環境を整える。接着剤の効果確保・結露・湿気の注意  
 （施工条件：室温 5℃以上）

- 配置の確認：貼り方向・貼り方  
 基本的にはレンガ張りにて施工してください。（下図参照）

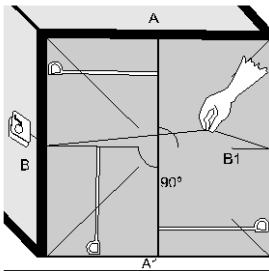


- 配色の確認：天然素材を使用しているため一枚ごとに色柄が異なります。仮並べをして全体のバランスを確認して下さい。

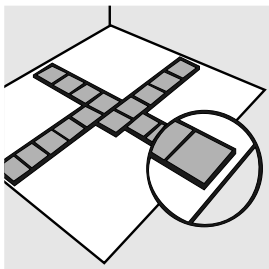
7. 施工手順：

(ア) 清掃：施工前に床下地の表面のゴミ、ホコリ、油汚れ等を取り除きます。

(イ) 基準墨の割り出し：まずチョークラインで壁Aの中心から壁A1の中心までを定めます。壁Bの中心から壁B1の中心までラインを引きます。このふたつのラインが90度に交差しているかどうかを確認してください。対角に施工していく場合、交点から対角にラインを引きます。（図のように45度の角度で交差します。）



接着する前に製品を中心から配置していき部屋の寸法を測定します。壁際の製品の幅が均一で50mm以上あることを確認してください。均一で50mm以上なければ、1列目に対して並行に新しくラインを引き同じことを繰り返します。



(ウ) 割付：上記で決定した基準墨を基に割付をして下さい。

(エ) 貼り始め：基準墨に沿って中心部から貼り始めます。

(オ) 接着剤の塗布 （両面塗布）：くし目コテやのりハケを使用して、製品の裏面に両面塗布式合成ゴム系速乾型接着剤（推奨：コニシ 速乾ボンド G10Z）を均等に添付します。塗布面が手につかない

状態までよく乾燥したら、重ね置きしてください。

※接着面同士は重ねないでください。接着してしまいます。

施工床面にもまんべんなく同様に接着剤を塗布します。下地の状態により塗布量が異なります。吸水性の高い下地の場合は、多めに塗布してください。

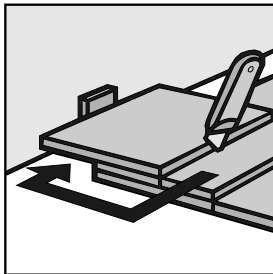
接着を塗布する量は一度に全量・全面塗布せず、接着剤の説明書をよく読み、接着可能時間と塗布、貼り付け作業時間のバランスを見ながら作業量を調整してください。

(カ) 貼り込み：製品を貼り付けてください。強く上から押し付けると固定されてしまいますので、位置を確認しながら軽く置き、初めは軽く押す程度にし、徐々に様子を見ながら固定していきます。

最終的にはハンドローラーでよく圧着してください。特にジョイント部分は強く圧着してください。

※ 貼り込みの際につめすぎると、施工後の突き上げの原因となります。つめすぎず、余裕をもって貼り込みし、都度基準線を調整しながら施工してください。端部で一度に並びを調整すると、列によって極端に隙間が開く場合があります。目地が合わない場合は、適宜裁断することで微調整してください。

※裁断：壁際の端部は下図のような方法で合わせられます。



裁断は電動丸ノコで裁断するか、カッター等で表面から切れ込みを入れていくと、きれいに裁断できます。端部や表面に切り残しがあるものを割り切りすると、表面材が欠ける場合がありますので、注意してください。

(キ) 全体の施工が完了したら、端部の浮き等を防止する為にも再度全体にローラーで転圧を掛けてください。特に目地部分は念入りに行ってください。

(ク) 仕上げ：製品の表面に付着した接着剤は硬化する前にヘラやウェス等で取り除いてください。

溶剤のご使用は、ツヤが変化する場合がありますのでご注意ください。

(ケ) 施工後の清掃：乾いた雑巾やモップをご使用下さい。石膏ボードの粉などが落ちにくい場合は十分に硬く絞った雑巾やモップなどで拭いてください。

(コ) 養生の注意：施工後は、お引渡しまで床面に傷がつかないように養生ボードなどで養生をしてください。テープ類はなるべく製品表面には直接はらず、養生ボード等の養生材同士をテープなどでつなぎ、製品に直接貼る部分は壁際などの最小限になるようにしてください。直接貼る場合は粘着性の弱い養生テープを使用し、布製ガムテープや幅広クラフト粘着テープ・ビニールテープ等は粘着力が強すぎて、フロア表面を損傷したり、変色したりするおそれがありますので、製品には直接貼らないで下さい。貼った養生テープを剥がす時はゆっくりと剥がして下さい。

## 8. メンテナンス

- ・ 日常のメンテナンスは雑巾やモップで乾拭きをして下さい。
- ・ 汚れのひどい所は固く絞った濡れ雑巾や水で薄めた中性洗剤（床用クリーナー等）で拭き取ってください。推奨：弊社取扱 **BONA** フロアクリーニングキット

※シンナーやアルコールなど溶剤が含まれるものは使用しないで下さい。

- ・ 水周りや室内出入り口付近など、水がかかりやすい箇所は、すぐに拭き取るようにし、目地部に水がたまらないようにしてください。出入り口付近には吸水性のあるマットなどを使用してください。

- ・ 水洗いやポリッシャーによる洗浄はおやめください。製品下面や目地に水が浸透し、接着剤に悪影響を及ぼしたり、また目地部分に水がたまると、製品断面から水分が浸透し、膨張、劣化、カビ等の原因になります。
- ・ ワックスやコーティング剤を使用する場合は、木床用のものを使用してください。一度に大量に塗布すると目地に塗り溜りができる場合がありますので、薄く少量ずつ、モップなどで塗布するようにしてください。
- ・ ワックスやコーティング剤は、製品本来の艶が著しく変わる場合や、相性が悪く密着しない場合などがありますので、かならず目立たない箇所などで仕上がり感をお試し下さい。推奨：BONA シリーズ

### コルクコンフォート（直貼りタイプ）取り扱い上の注意

- ・ コルクコンフォート（直貼りタイプ）は天然コルクを原料とした製品です。製品の美しさを長く保つためには、施工後に関して下記事項を必ず守って下さい。
- ・ ●自然素材ですので、製品の色にばらつきがあります。
- ・ ●水分がしみると腐れ、はがれ、フクレなどの原因になるので、水や飲み物などをこぼしたりした場合は速やかにふき取って下さい。また、濡れた雑巾や衣類などを製品の上に長時間放置しないで下さい。
- ・ ●冷蔵庫やピアノのように重い物は板を敷いて重量を分散させる、家具の脚部にキャップをはかせるなどの配慮が必要です。
- ・ ●傘や先の尖った器物の持ち込みは、床損傷の原因になりますので出来るだけ避けて下さい。
- ・ ●書棚、整理棚などの位置の微調整も棚の中の荷物が入ったままですらすらではなく、中の荷物を一旦だしてから棚を持ち上げて移動するようにして下さい。
- ・ ●家具や椅子が床と接する面にはフェルトや柔らかいゴムキャップなどを付け、また出来るだけ引きずらないようにすることで傷を防ぐことが出来ます。また、キャスター付きの椅子や家具を使用すると、床材の表面にへこみや傷、表面剥がれが生じる恐れがあります。
- ・ ●製品の養生やカーペット、玄関マットの固定の為に床に貼ったテープなどを不用意に剥がすと、塗膜を損傷することがありますので注意して取り除いてください。
- ・ ●一般的にコルク素材は湿度や温度の影響を受けやすく、特にデリケートなため湿気の多い梅雨時には伸び、乾燥する冬場には縮みます。また、長年使用するうちに落ち着いてきます。
- ・ ●乾燥しすぎは収縮による隙間や反りの原因となりますので、加湿器で部屋の湿度を 50～60%以内に調節するのが理想的です。（暖房使用時は、60～70%の範囲に保つようおすすめします。）
- ・ ●ホットカーペットの使用は熱がこもり、ひび割れの原因となります。その場合、一般的には断熱性のシートを敷いて熱を和らげてご使用下さい。
- ・ ●定期的にメンテナンスをすることにより表面の美観をより長く維持することができます。
- ・ メンテナンス用品は弊社取扱いのBONAシリーズを推奨しております。
- ・ ●窓際など直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色が起こり、絨毯やカーペット・植木鉢を置くと色違いの原因となりますのでご注意ください。また、ヒビ割れなどの劣化が生じやすくなりますので、直射日光はカーテンやブラインドなどで遮ってください。

エーディーワールド販売株式会社  
東京都港区西新橋 3-23-6

[TEL:03-5405-1125](tel:03-5405-1125)

<http://ad-world.co.jp/>

**AHODAI**